

参考教材 / 問題 1 / Lv.1

地層の傾きマスター

基本：標高と深さを読み分けよう

地点Aの地表の標高は80m、同じ火山灰の層までの深さは12mだった。

(1) 火山灰の層の標高を求めよう。

(2) 地点Bでは、地表の標高が70m、層までの深さが8mだった。層の標高を求めよう。

断層や褶曲はなく、同じ火山灰の層を調べたものとする。

画面確認用の参考問題です。販売用教材ではありません。

参考教材 / 問題 2 / Lv.1

地層の傾きマスター

基本の類題：層の標高を比較しよう

地表の標高が100mの地点では火山灰の層まで18m、標高が90mの地点では10mだった。

(1) それぞれの地点で、火山灰の層の標高を求めよう。

(2) どちらの地点で層の標高が高いか。

画面確認用の参考問題です。販売用教材ではありません。

参考教材 / 問題 3 / Lv.2

地層の傾きマスター

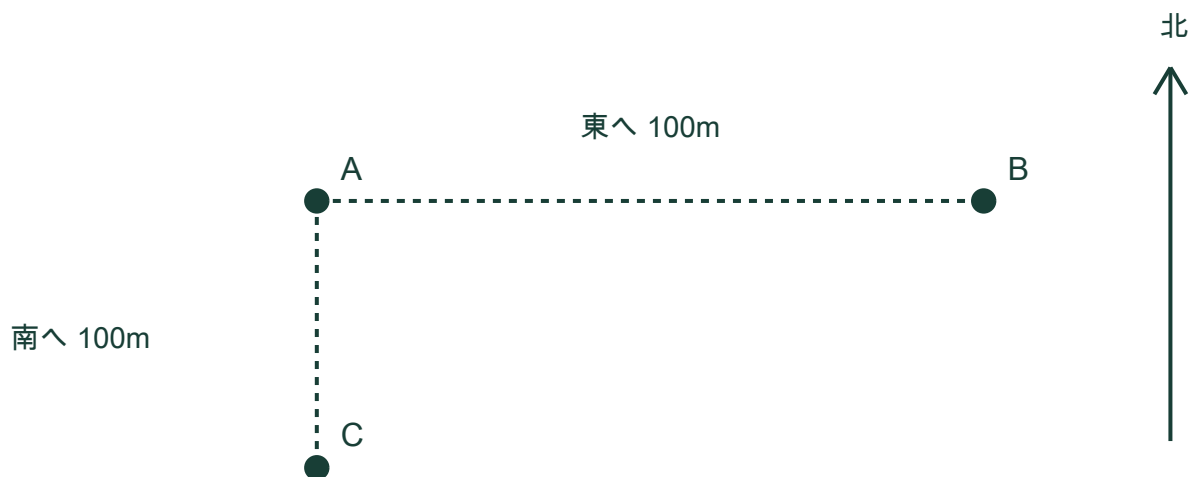
応用：3地点から傾きを読む

図のA・B・Cで同じ火山灰の層を調べた。層の標高はAで60m、Bで50m、Cで60mだった。

各地点の間で地層は一定の向きに傾いているものとする。

(1) 地層が水平に続いている向きを答えよう。

(2) 地層が低くなる向きを答えよう。



画面確認用の参考問題です。販売用教材ではありません。

参考教材 / 問題 4 / Lv.2

地層の傾きマスター

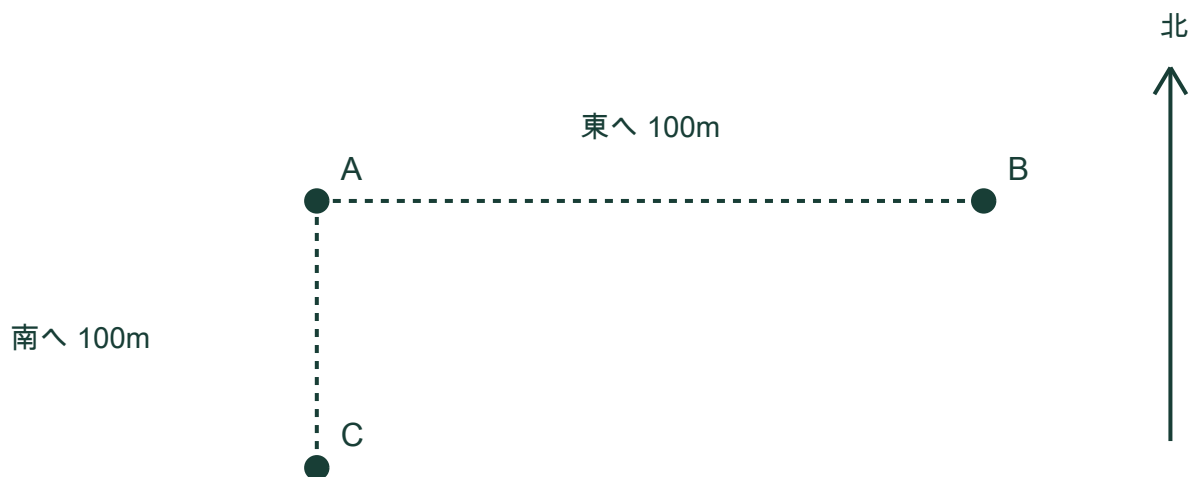
応用の類題：南北の傾きを読む

図のA・B・Cで、同じ火山灰の層の標高はAで40m、Bで40m、Cで30mだった。

断層や褶曲はなく、地層は一定の向きに傾いている。

(1) 水平に続く向きと、低くなる向きを答えよう。

(2) Aから北へ100mの地点では、層の標高はいくらか。



画面確認用の参考問題です。販売用教材ではありません。

参考教材 / 問題 5 / Lv.3

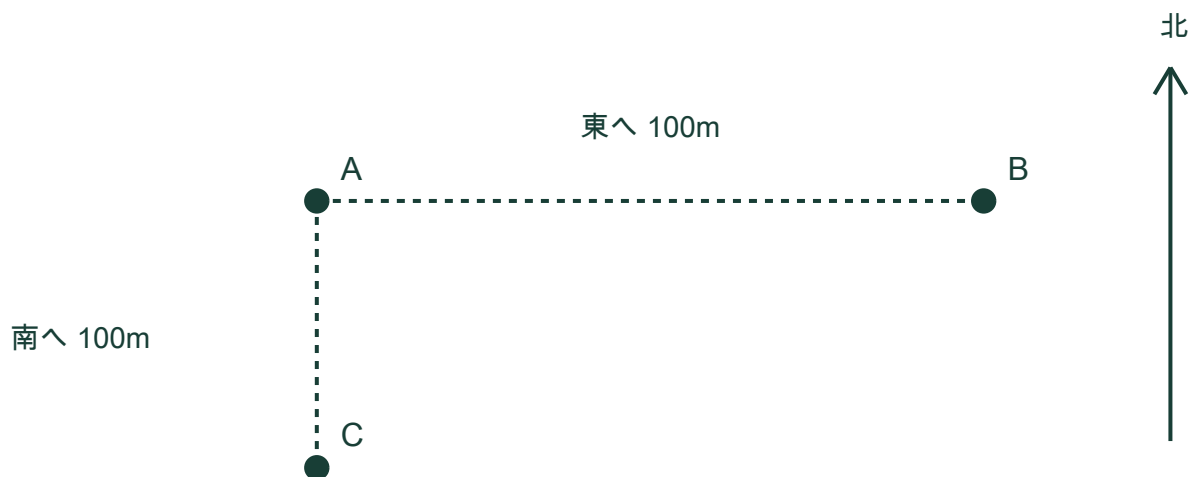
地層の傾きマスター

入試：地表の標高が違う地点を比べる

A・B・Cの地表の標高は、それぞれ80m、75m、70mだった。同じ火山灰の層までの深さは、それぞれ20m、25m、10mだった。

地点の位置は図のとおりで、断層や褶曲はない。

- (1) 各地点で層の標高を求め、低くなる向きを答えよう。
- (2) Bからさらに東へ100mの地点で、地表の標高が65mなら、その層までの深さは何mか。



画面確認用の参考問題です。販売用教材ではありません。